

2012年3月期

第2四半期決算説明資料

レシップホールディングス株式会社

LECIP
GROUP

2011年11月

▶ **1. 2012年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況**:P 3~P17

■ **2. 2012年3月期 通期業績の見通し・配当の状況**:P19~P21

■ **3. 中長期的な成長に向けた取り組み**:P23~P30

■ **【ご参考資料】**:P32~P38

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

上期業績のポイント

- ▶ 売上高: **減収**: 輸送機器事業で、バス市場向け製品が落ち込む。
- ▶ 損益面: **改善**: グループ全体での経費削減効果、S&D事業と産業機器事業の改善が奏功。

⚡ マイナス要因

輸送機器事業

- 主力のバス市場向け製品が、需要の端境期にあり、低迷。
- 震災の影響により、上期に予定していた売上の一部が、下期以降にずれ込む。

➡ プラス要因

S&D事業

- 節電・省エネ対策需要の拡大を背景に、LED電源や蛍光灯型LED灯具が大幅な増加。損益面も大きく改善。

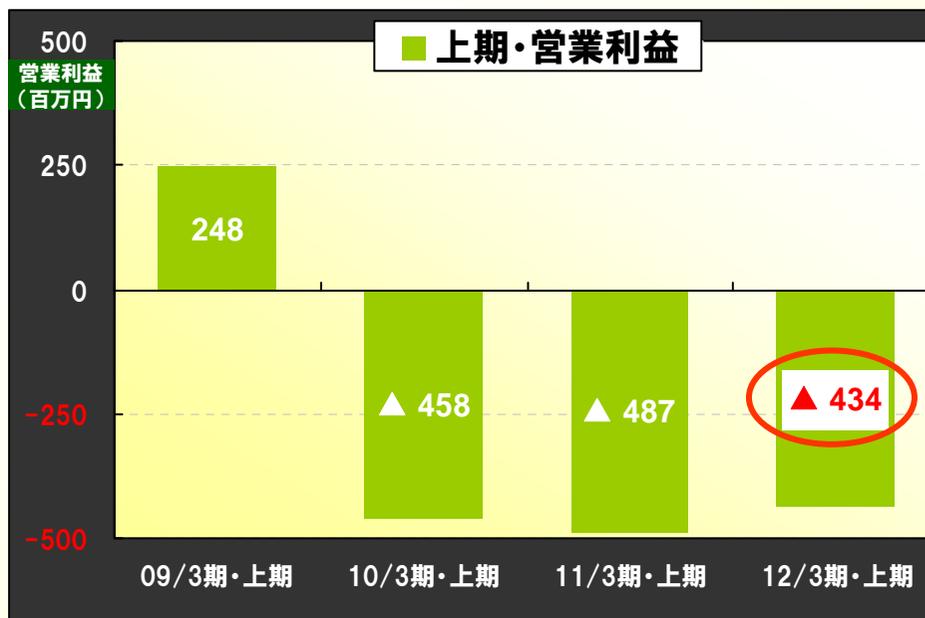
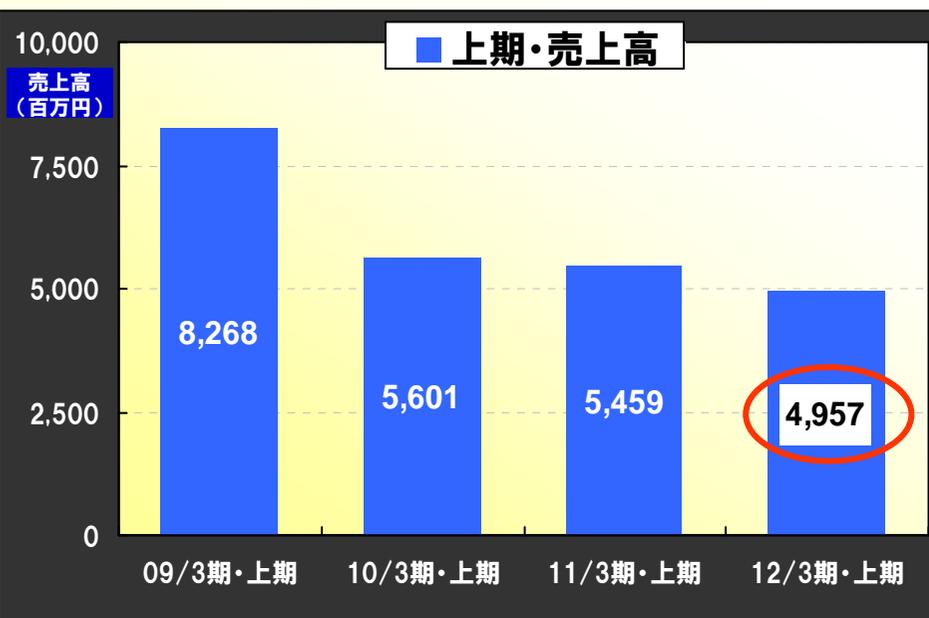
産業機器事業

- バッテリー式フォークリフト用充電器、次世代PHS基地局用の電源などが増加。
- 連結子会社レシップ電子で、プリント基板実装事業の損益面改善。

2012年3月期 上期 連結業績の要約



【連結】 上期業績 (単位:百万円)	2011年3月期 上期		2012年3月期 上期				
	① 前期実績	構成比	② 当初発表 業績予想	③ 当期実績	構成比	前年同期比 増減額 ③-①	前年同期比 増減率
売上高	5,459	100.0%	5,500	4,957	100.0%	▲502	▲9.2%
売上総利益	780	14.3%	—	821	16.6%	+40	+5.2%
営業利益	▲487	▲8.9%	▲365	▲434	▲8.8%	+52	—
経常利益	▲460	▲8.4%	▲360	▲431	▲8.7%	+29	—
上期純利益	▲307	▲5.6%	▲230	▲297	▲6.0%	+9	—



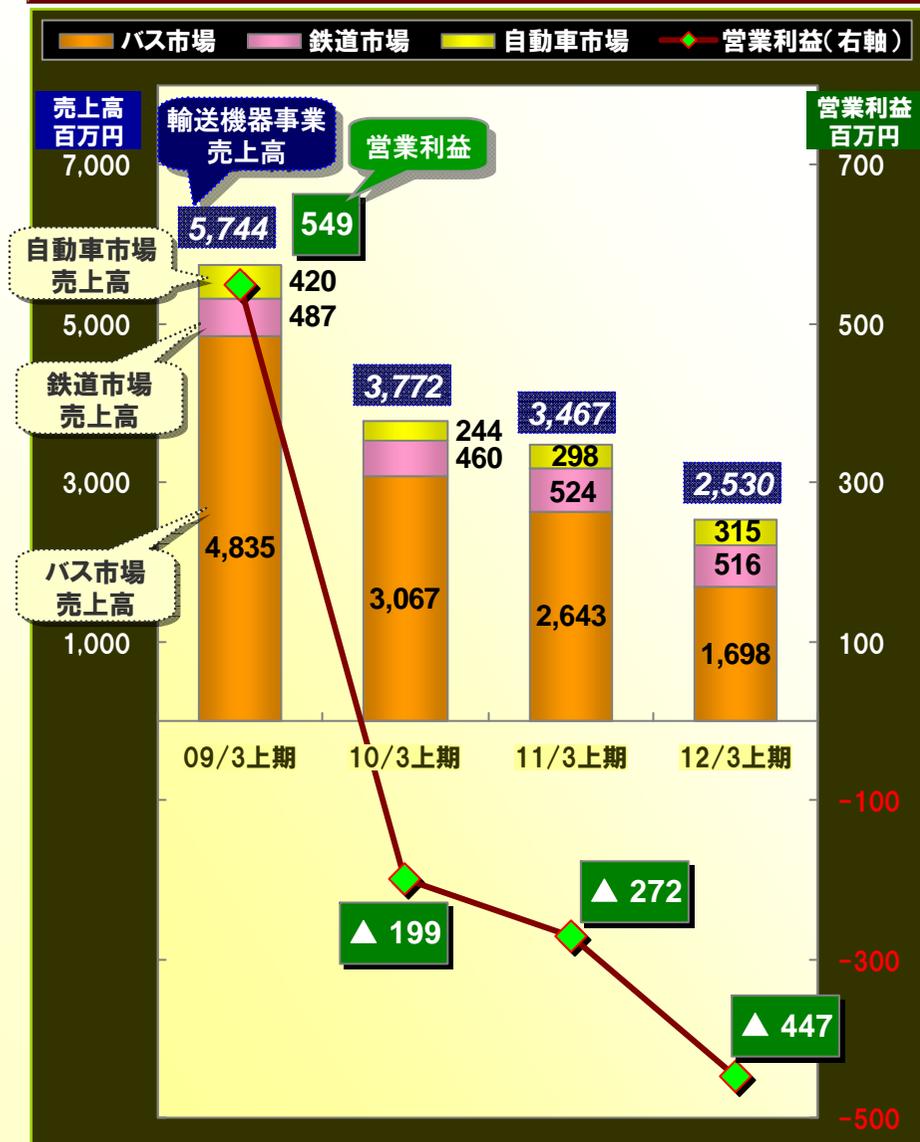
2012年3月期 上期 セグメント別業績



売上高 (単位:百万円)	2011年3月期 上期		2012年3月期 上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	3,467	63.5%	2,530	51.1%	▲936	▲27.0%
S&D事業	384	7.1%	708	14.3%	+324	+84.3%
産業機器事業	1,607	29.4%	1,695	34.2%	+87	+5.4%
その他事業	—	—	22	0.4%	+22	—
連結売上高	5,459	100.0%	4,957	100.0%	▲502	▲9.2%

営業利益 (単位:百万円)	2011年3月期 上期		2012年3月期 上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	▲272	64.0%	▲447	110.0%	▲174	—
S&D事業	▲135	31.8%	▲21	5.3%	+113	—
産業機器事業	▲17	4.2%	60	▲14.8%	+78	—
その他事業	—	—	1	▲0.5%	+1	—
計	▲425	100.0%	▲407	100.0%	+18	—
消去・全社	▲61	—	▲27	—	+33	—
連結営業利益	▲487	—	▲434	—	+52	—

輸送機器事業：上期：売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ 9億36百万円 ▲27.0%
■ 営業利益: 前期比 ▲ 1億74百万円 ▲ 1%

バス市場製品売上高

前期比: ▲9億44百万円(▲35.7%)

- ▶ 需要の端境期にあり、ICカードシステムや運賃箱などが大きく減少
- ▶ 震災の影響により、納入の一部が下期以降にずれ込む
- ▶ 海外市場の売上高は増加



鉄道市場製品売上高

前期比: ▲8百万円(▲1.7%)

- ▶ 列車用灯具は堅調に推移するも、ワンマン機器、券売機などが減少



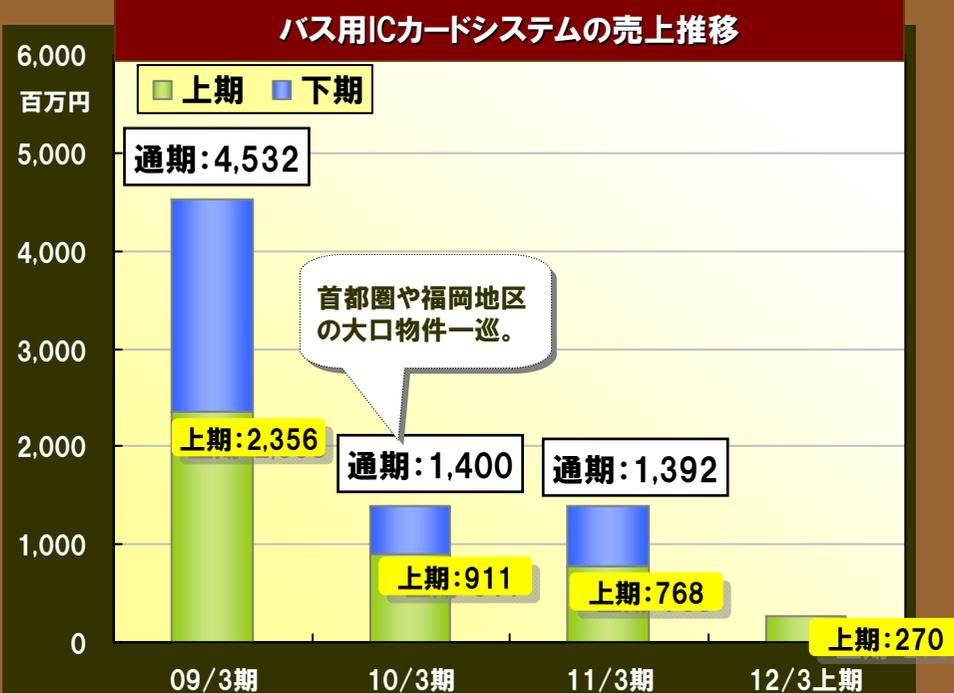
自動車市場製品売上高

前期比: ▲17百万円(▲5.7%)

- ▶ トラック用LED灯具などが増加



バス用ICカードシステム（ICカード読み取り機能付運賃箱、ICカードリーダー・ライタ）

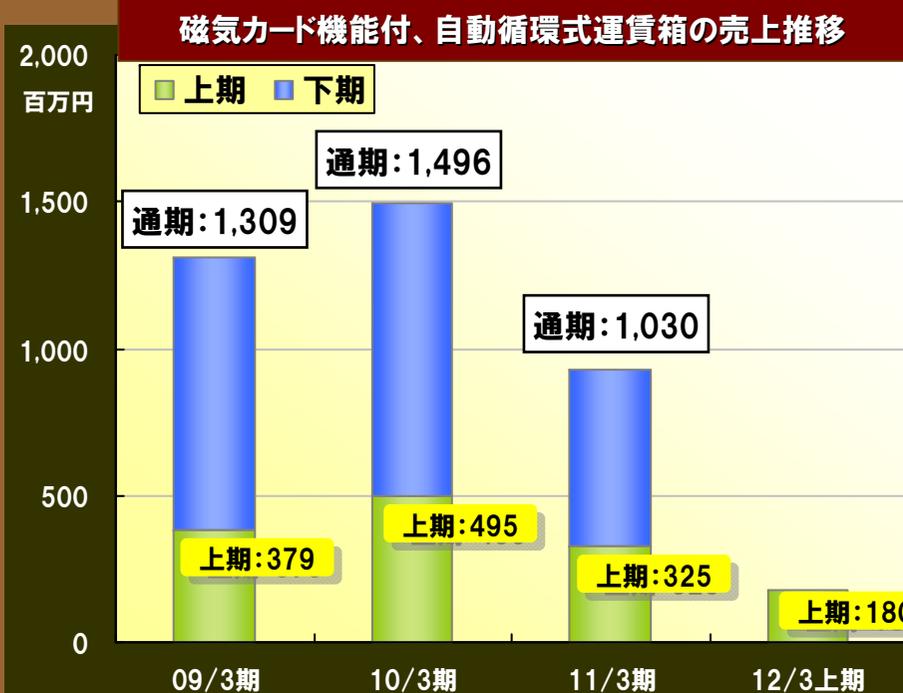


ICカード対応運賃箱 / ICカードリーダー・ライタ



- 上期は、新潟地区などへの納入を行うも、全体的には、需要の端境期大口の導入案件限られ、低調に推移
- 導入ペースが鈍化したものの、全国的には、普及途上
 - ➡ これまでの実績を追い風に、引き続き、全国展開を推進
 - 下期は、大口物件への納入を予定

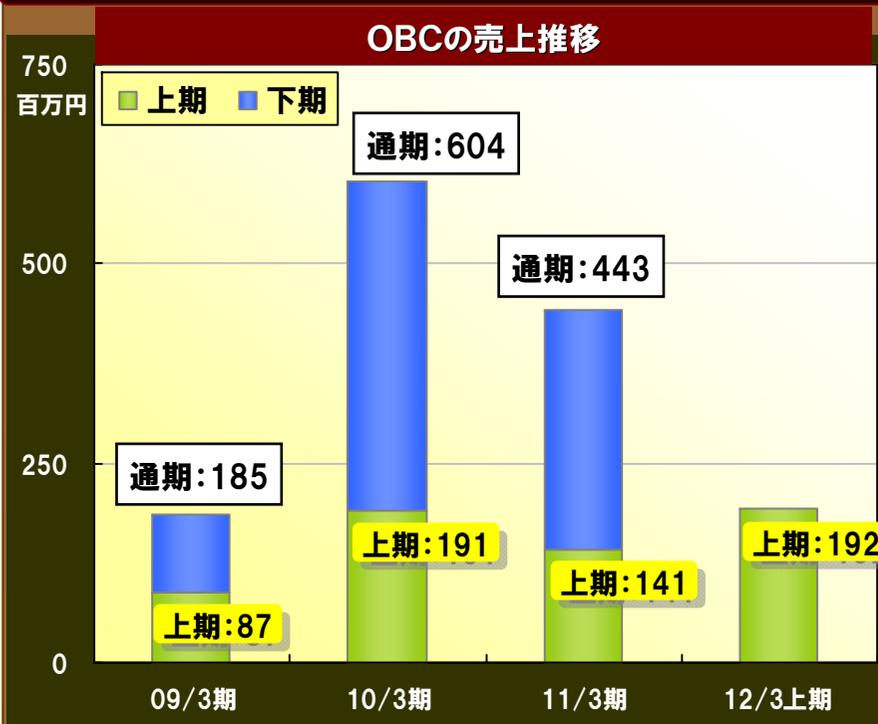
バス用運賃箱（磁気カード読み取り機能付運賃箱、自動循環式運賃箱）



- 前年にあった大口物件の一巡に加え、ICカードシステム同様、今期は、需要の端境期更新需要案件限られ、低調に推移
- 将来的な布石として、着実に受注を進め、シェア拡大に成功
 - ➡ 今後、ICカードシステム等、その他関連製品の拡販に繋げていく

主な項目の進捗状況：輸送機器事業

車載用液晶表示器OBC(オン・バス・コンピュータ)



OBC(オン・バス・コンピュータ)

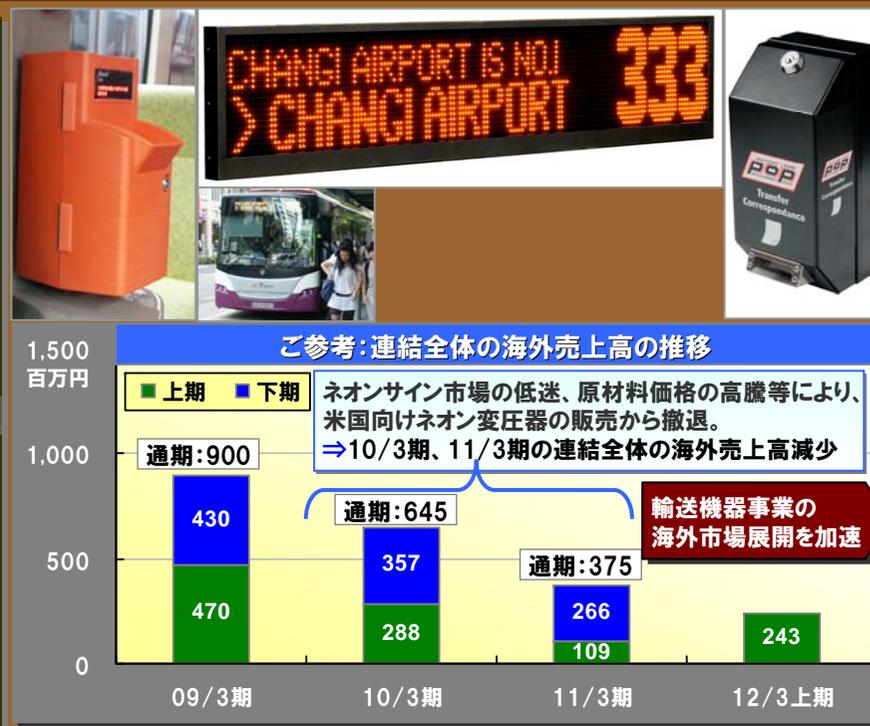
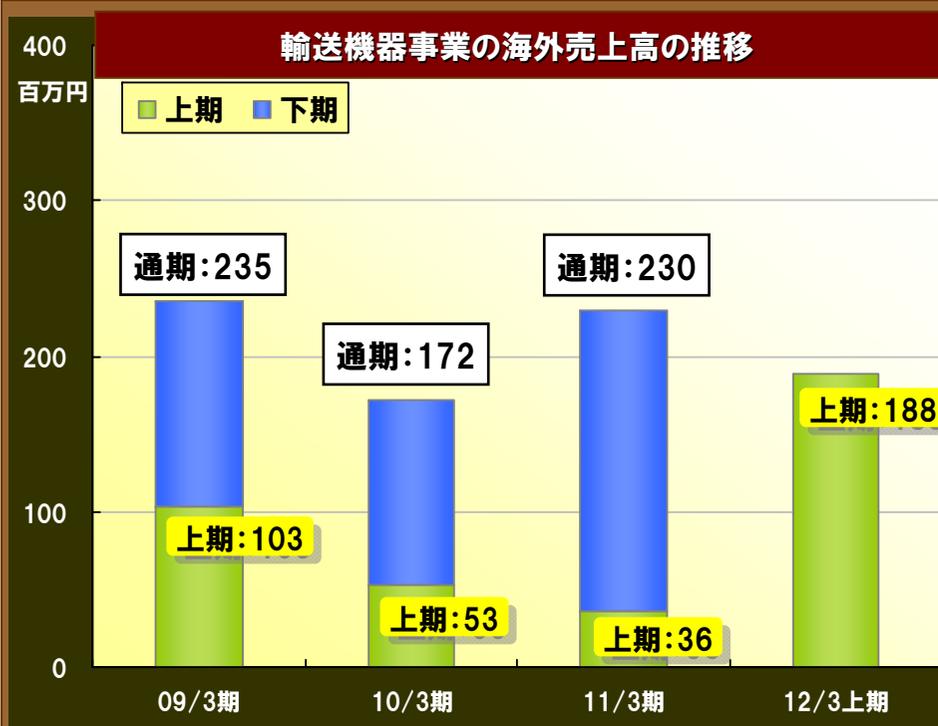
【パソコンと同等の機能】
車載機器のシステム化、地上システムとのネットワーク化が可能。

- 拡販を進め、前年同期比増加
更なる拡大を見込む
- OBCを活用した新たな展開を推進
 - ➡ 運行情報や乗換え・接続案内等、多くの有益な情報のリアルタイム配信を可能にする「乗客情報システム(PIS)」
 - ➡ 路線バスにおいて、広告やニュース・天気予報などの表示を行うデジタルサイネージ「バスチャンネル」



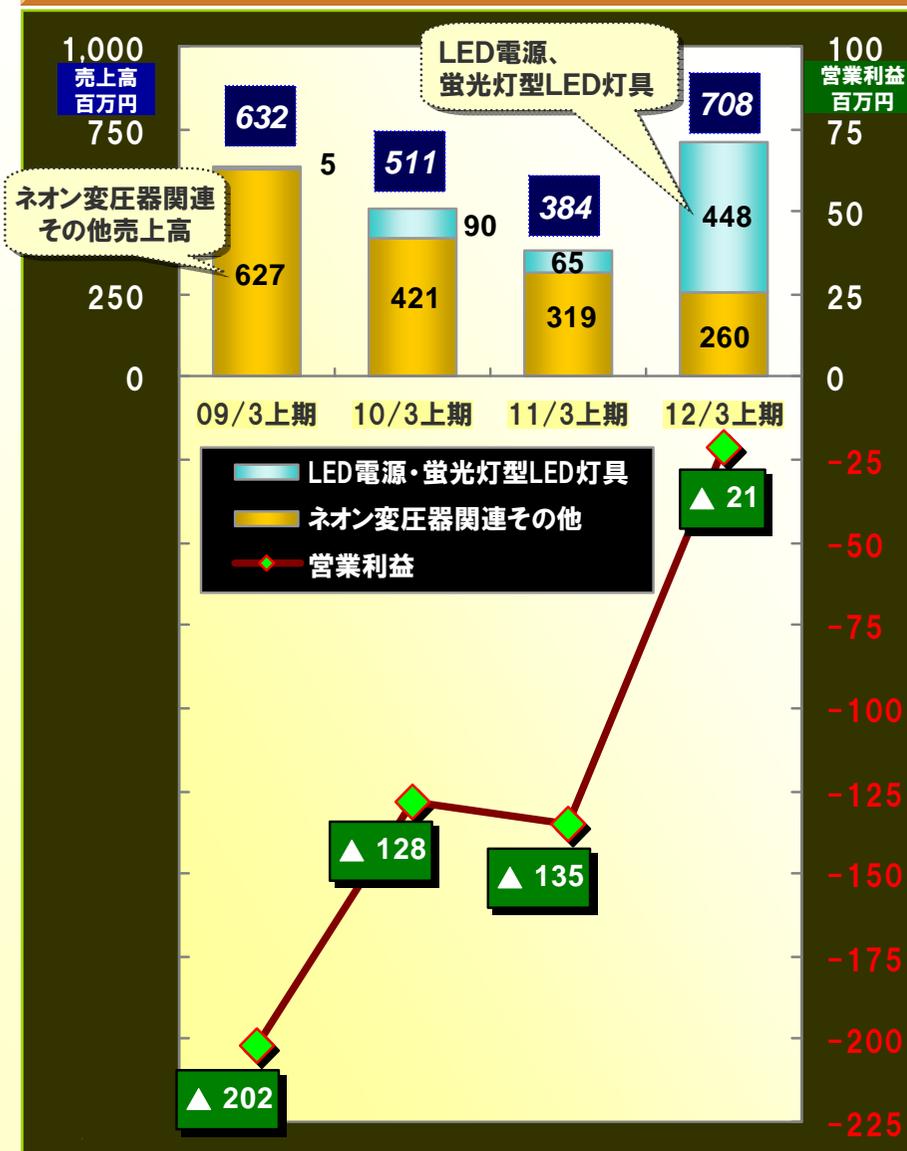
運賃・停留所表示のほか、
運行案内や、ニュース、CMなど
多彩な情報配信が可能。

輸送機器事業の海外売上高



- 輸送機器事業の海外売上高は、前年同期比大幅な拡大
- アジア市場で、シンガポール向けバス用LED式行先表示器や、料金箱などの納入進む
北米市場で、カナダ向けバス用乗り継ぎ発券機を受注
- 引き続き、海外市場におけるバス・鉄道市場向け製品の受注活動を一層強化

S&D事業: 上期: 売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ +3億24百万円 +84.3%
■ 営業利益 : 前期比 ▲ +1億13百万円 -

LED電源、蛍光灯型LED灯具

前期比: +3億82百万円(6.9倍)

▶ LED電源(+2億06百万円)
 蛍光灯型LED灯具(+1億75百万円)

▶ 節電・省エネ意識の高まりを背景とするLED照明市場の急速な拡大

▶ 店舗やオフィス等を中心に、導入加速



ネオン変圧器関連その他

前期比: ▲59百万円(▲18.5%)

▶ ネオンサイン市場の需要低迷により、ネオン変圧器の減少続く

▶ 燃焼器具用変圧器等、その他の小型変圧器は持ち直す



LED電源と蛍光灯型LED灯具



- LED照明市場の拡大により、LED電源と蛍光灯型LED灯具が、前年同期比大幅な拡大

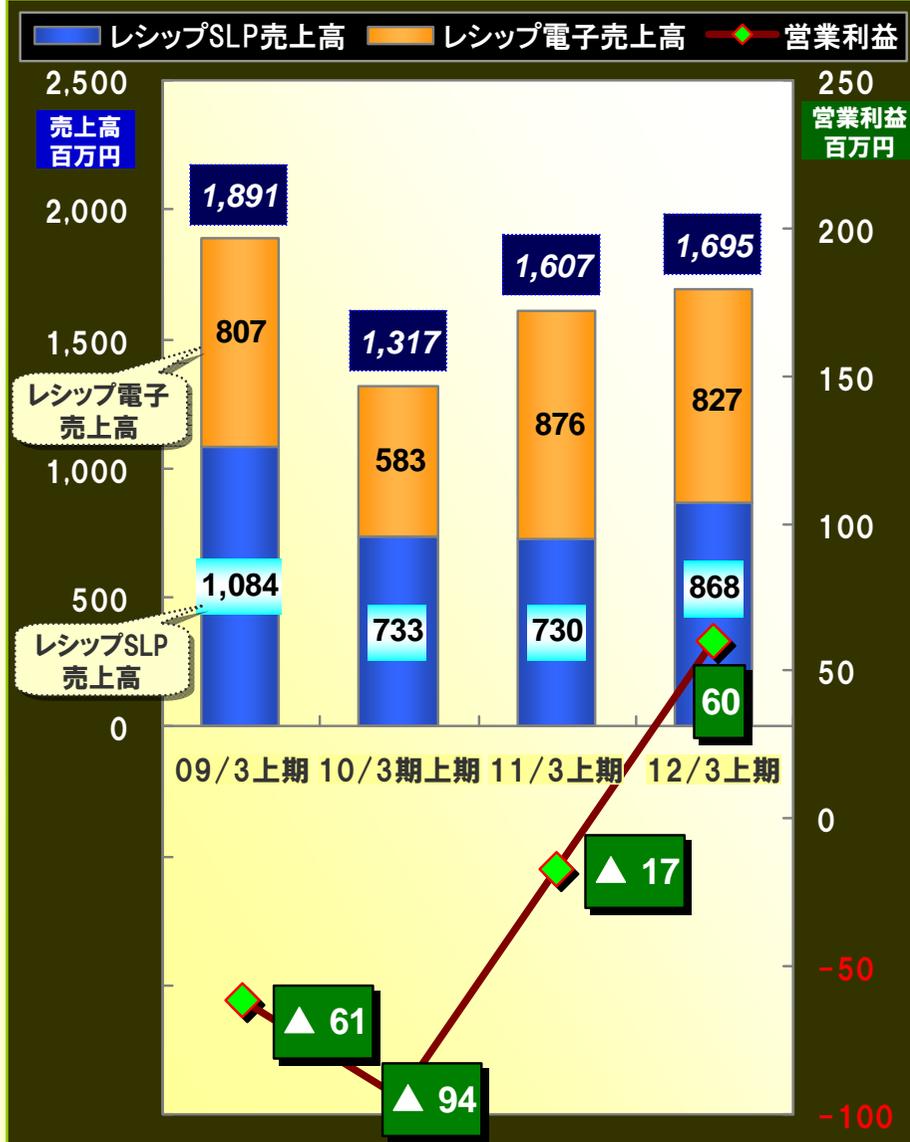
【LED電源・蛍光灯型LED灯具の売上高】



・LED電源	前年上期	51百万円	→	今期上期	2億58百万円	(前年同期比	5.0倍	+2億06百万円)
・蛍光灯型LED灯具	前年上期	13百万円	→	今期上期	1億89百万円	(前年同期比	14.0倍	+1億75百万円)
合計	前年上期	65百万円	→	今期上期	4億48百万円	(前年同期比	6.9倍	+3億82百万円)

- 上期時点で、前年通期実績の2倍以上の売上を確保
- 引き続き、拡販に注力し、LED関連ビジネスの拡大を図る

▶ 産業機器事業：上期：売上高・営業利益の推移



▲ 売上高 : 前期比 + 87百万円 +5.4%
▲ 営業利益 : 前期比 + 78百万円 —

フォークリフト用充電器

前期比: +56百万円(+15.3%)
 ▶ フォークリフト販売台数の回復



無停電電源装置・基地局用電源

前期比: +23百万円(+28.1%)
 ▶ CATV基地局向け減少するも、PHS基地局向けが増加



自家発電機用自動運転装置・始動用電源

前期比: +29百万円(+23.2%)
 ▶ 災害対策への意識の高まりを背景に、非常用電源の需要が増加

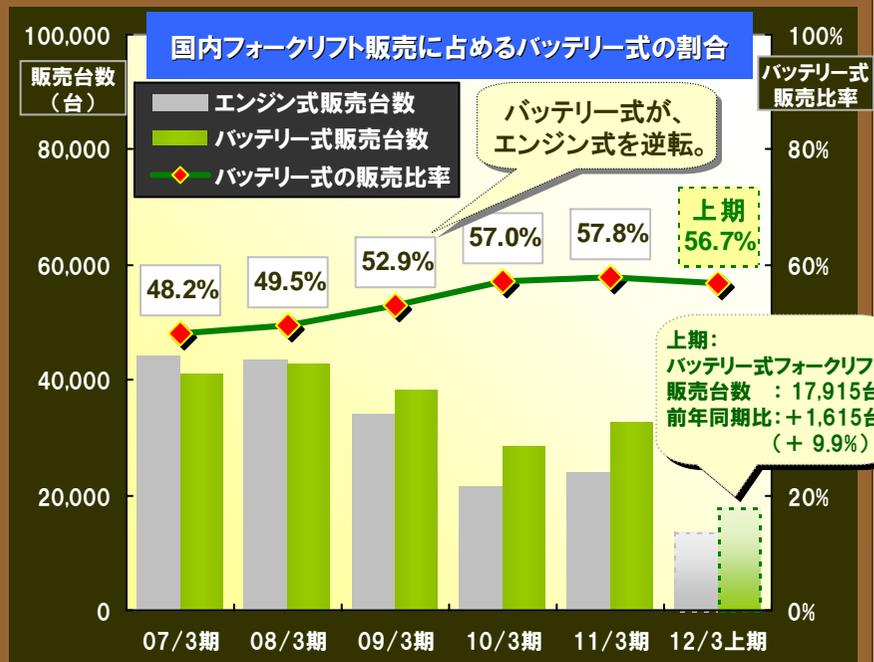
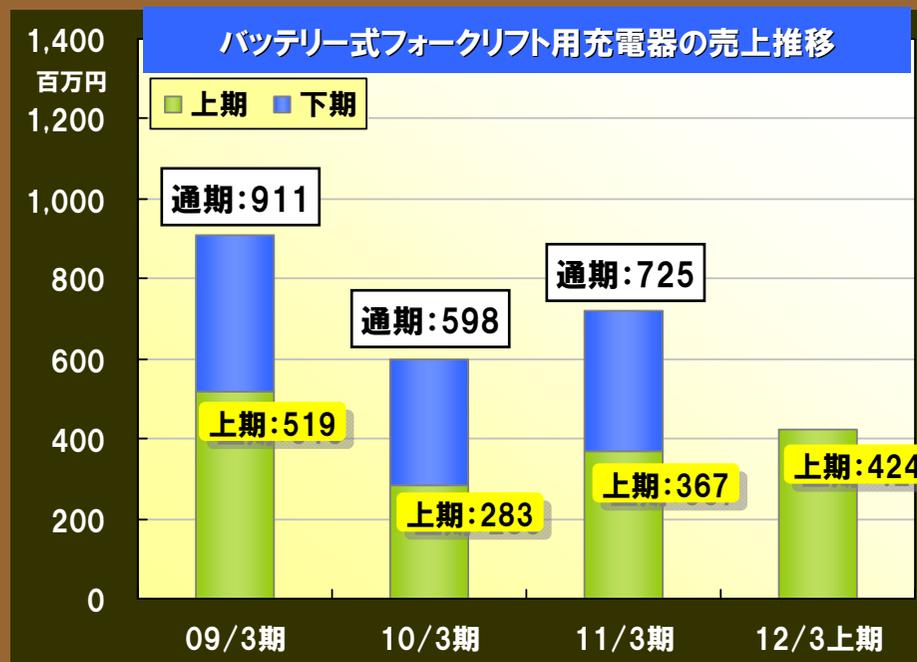


レシップ電子・プリント基板実装

前期比: ▲49百万円(▲5.7%)
 ▶ 自動車用電装品向け(▲3億09百万円)
 ▶ 電子・産業機器向け (+2億59百万円)



バッテリー式フォークリフト用充電器



- フォークリフト販売台数の回復基調続く

➡ バッテリー式フォークリフトの販売台数：前年同期比+1,615台(+9.9%)

- 国内フォークリフト販売に占める比率は、バッテリー式が、エンジン式を上回って推移

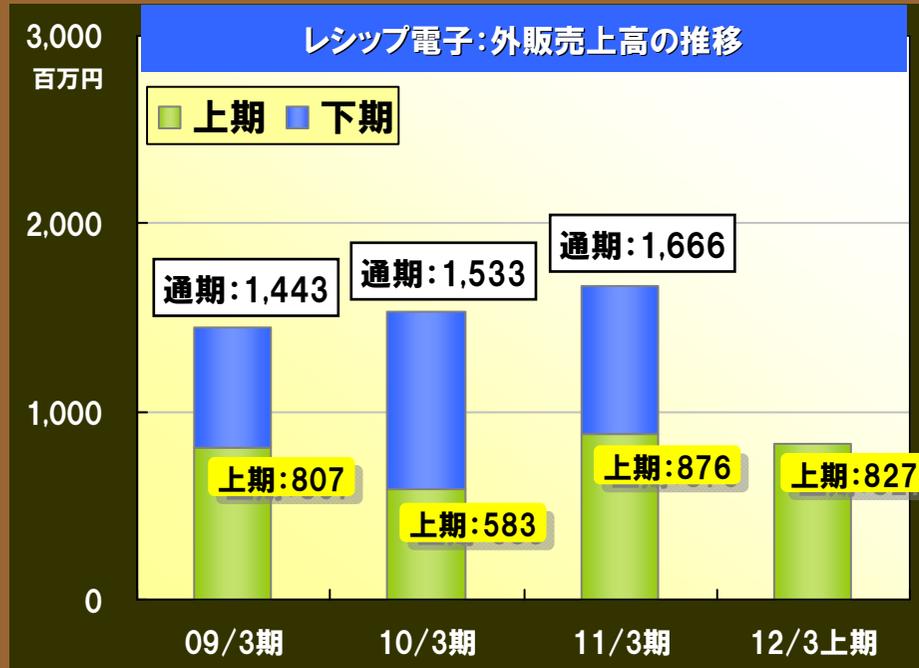
➡ バッテリー式フォークリフトの販売比率：56.7%(12/3上期)

- 今後も、環境対応を背景に、バッテリー式へのニーズが高まる見通し

➡ 次世代電池対応に向けた開発推進



レシップ電子・プリント基板実装事業



- 上期は、震災の影響により、自動車用電装品向け出遅れるも、前年下期に受注した産業用電源向けが拡大
- 通期ベースでは、上期の出遅れカバーし、前期比大幅増加見込み
- 当社グループ内では重要な位置づけ

➡ 自社グループ内に基板実装ラインを有していることで、当社製品に使用される基板を安定的に調達できる強み
顧客の仕様にも柔軟かつスピーディに対応可能であり、高い信頼とご評価をいただく



上期 連結損益の状況



【連結P/L】	2011年3月期:上期		2012年3月期:上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	5,459	100.0	4,957	100.0	▲502	
売上原価	4,678	85.7	4,135	83.4	▲542	
売上総利益	780	14.3	821	16.6	+40	
販売管理費	1,268	23.2	1,256	25.3	▲12	事務用経費:▲21百万円、 消耗工具器具備品費:▲4百万円
営業利益	▲487	▲8.9	▲434	▲8.8	+52	
営業外収益	48	0.9	20	0.4	▲27	不動産賃貸料:▲24百万円(持株会社体制移行に伴い、前年の下期以降、売上高に計上)
営業外費用	20	0.4	16	0.3	▲4	賃貸収入原価:▲5百万円(持株会社体制移行に伴い、前年の下期以降、売上原価に計上)
経常利益	▲460	▲8.4	▲431	▲8.7	+29	
特別利益	86	1.6	0	0.0	▲86	THAI LECIPの固定資産売却益:▲47百万円、 賃貸不動産の中途解約違約金:▲37百万円
特別損失	2	0.1	16	0.3	+13	関係会社(レンシップ上海)出資金評価損: +16百万円
税金等調整前純利益	▲376	▲6.9	▲447	▲9.0	▲70	
法人税等合計	▲69	▲1.3	▲150	▲3.0	▲80	
上期純利益	▲307	▲5.6	▲297	▲6.0	+9	

上期 連結貸借対照表の主な増減項目



【連結B/S】	2011年3月期 期 末		2012年3月期 上 期 末			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	6,918	71.3	5,895	68.2	▲1,023	売上債権 : ▲1,163百万円、 棚卸資産 : + 263百万円
固定資産	2,779	28.7	2,754	31.8	▲24	有形固定資産 : ▲13百万円、 無形固定資産 : ▲7百万円、 投資その他の資産 : ▲3百万円
資産合計	9,698	100.0	8,649	100.0	▲1,048	
流動負債	3,485	35.9	3,144	36.4	▲340	仕入債務 : ▲369百万円、 未払法人税等 : ▲155百万円、 1年内返済予定長期借入金 : +244百万円
固定負債	937	9.7	623	7.2	▲313	長期借入金 : ▲316百万円
負債合計	4,422	45.6	3,768	43.6	▲653	
純資産合計	5,275	54.4	4,881	56.4	▲394	利益剰余金 : ▲377百万円
負債・純資産合計	9,698	100.0	8,649	100.0	▲1,048	

1. 2012年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況:P 3~P17

▶ 2. 2012年3月期 通期業績予想・配当の状況:P19~P21

3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23~P30

【ご参考資料】:P32~P38

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

通期業績予想のポイント

▶ 上期低迷するも、通期予想は、当初予想から変更なく、据置き。前期比 増収増益を見込む。

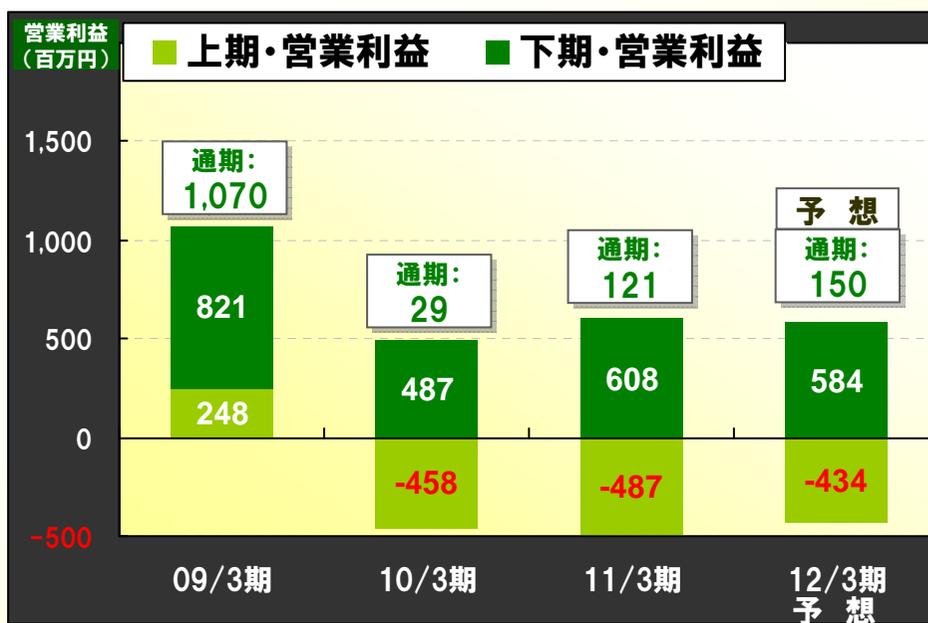
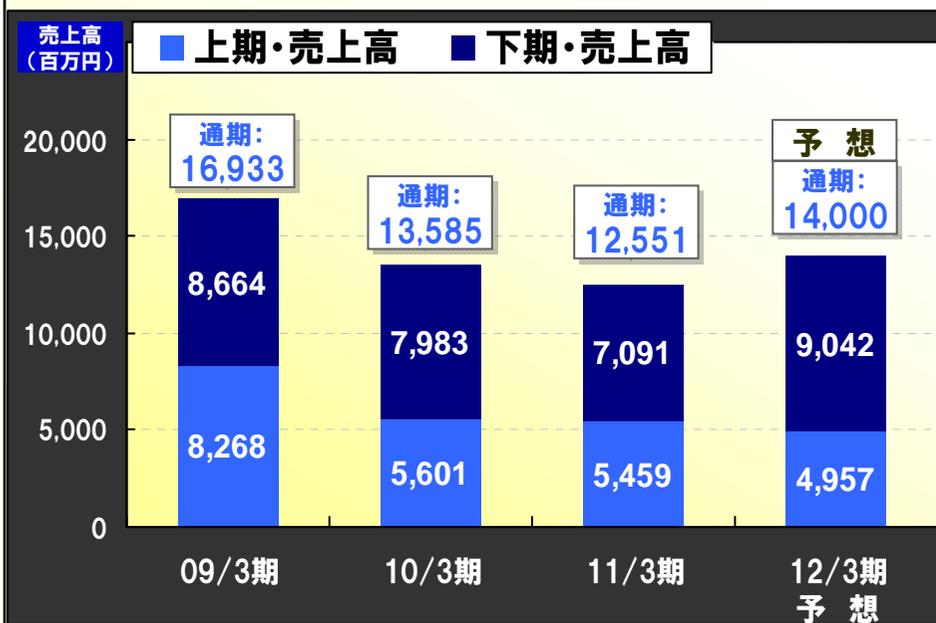
- 下期は、輸送機器事業において、バス用ICカードシステムや車載用液晶表示器OBCなどの納入拡大が見込まれる。
- 震災の影響で上期から下期にずれ込んだ製品の納入も進む見通し。

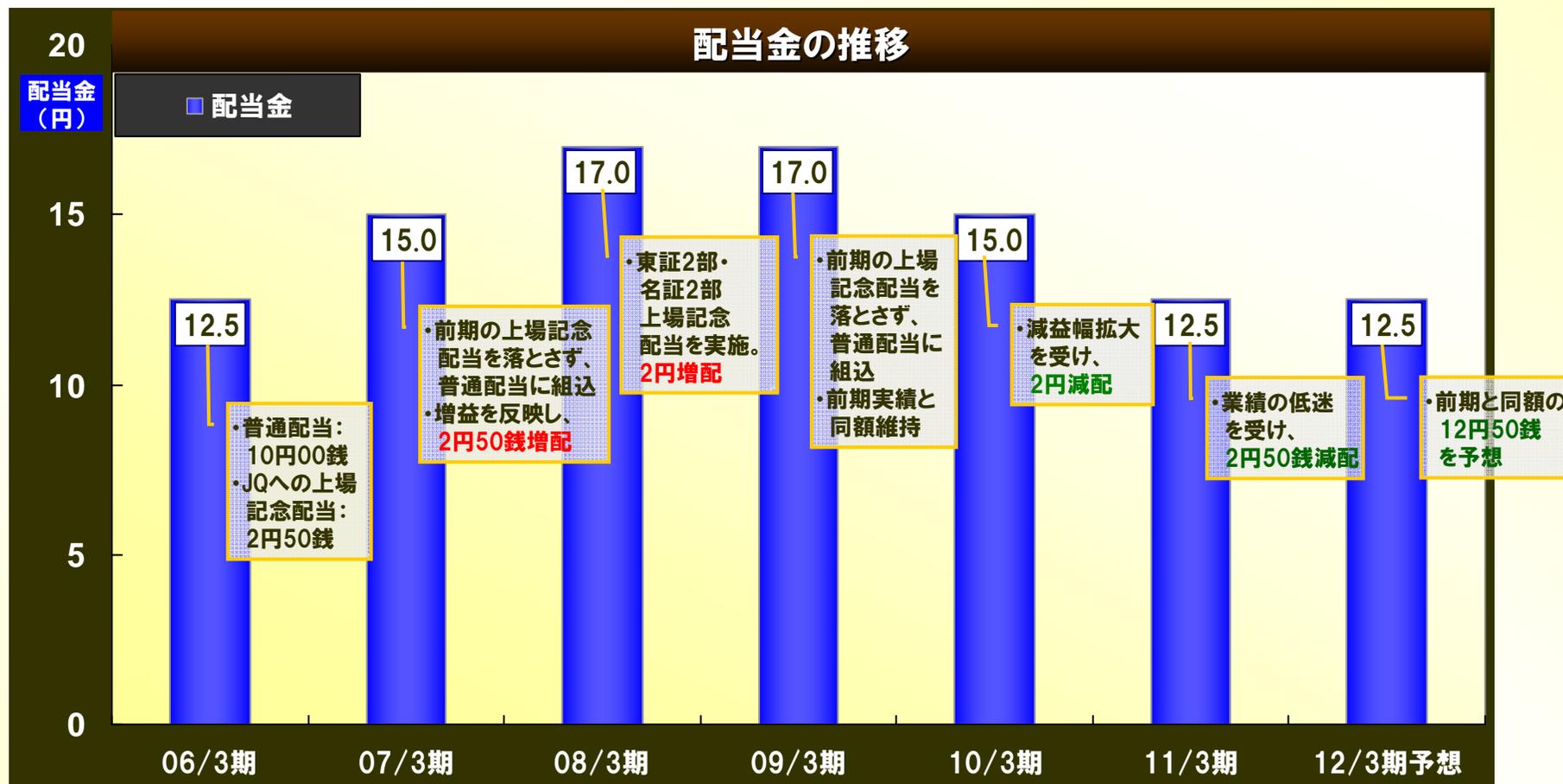
セグメント	前期比 増収増益予想:内容	
輸送機器		<ul style="list-style-type: none"> ○ 車載用液晶表示器(OBC)や、バス停・バスターミナル用表示器等、乗客情報システム(PIS)関連の拡販
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外市場での拡販 <ul style="list-style-type: none"> ・ シンガポール:バス用LED式行先表示器、料金箱、AVMS(バス総合運行管理システム)関連機器等の納入 ・ 北 米 :バス用乗り継ぎ発券機、鉄道車両用LED灯具等の納入 自動運賃収受システム(AFC)関連の受注活動を一層強化
S&D		<ul style="list-style-type: none"> ○ 節電対策としてLED関連製品の需要拡大 LED電源、蛍光灯型LED灯具が大幅増加
産業機器		<ul style="list-style-type: none"> ○ バッテリー式フォークリフト用充電器、次世代PHS基地局用電源の増加 ○ 連結子会社レシップ電子で、産業用電源向け基板が大幅増加

2012年3月期:通期業績予想



連結業績予想	2011年3月期 実績 (百万円)	構成比 (%)	2012年3月期 業績予想 (百万円)	構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	12,551	100.0%	14,000	100.0%	+1,448	+11.5%
営業利益	121	1.0%	150	1.1%	+28	+23.8%
経常利益	154	1.2%	160	1.1%	+5	+3.3%
当期純利益	46	0.4%	77	0.6%	+30	+64.2%
E P S (円)	7円34銭	—	9円23銭	—	+4円71銭	+64.2%





- 2012年3月期の配当予想は、引き続き、**12円50銭を維持**
- 継続的かつ安定的な利益還元に努める

- 1. 2012年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況:P 3~P17
- 2. 2012年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P19~P21
- ▶ **3. 中長期的な成長に向けた取り組み**:P23~P30

■ **【ご参考資料】**:P32~P38

- 会社概要・事業内容・主なトップシェア製品
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

—2010年度～2012年度:中期経営計画—

【 CE2012 】

CE = Comfortable Everyday 「快適な日常」

【経営理念】

「省エネルギー」・「地球環境対応」・「セキュリティ強化」を通じて、
快適な日常を実現するための製品・サービスを社会に提供する。

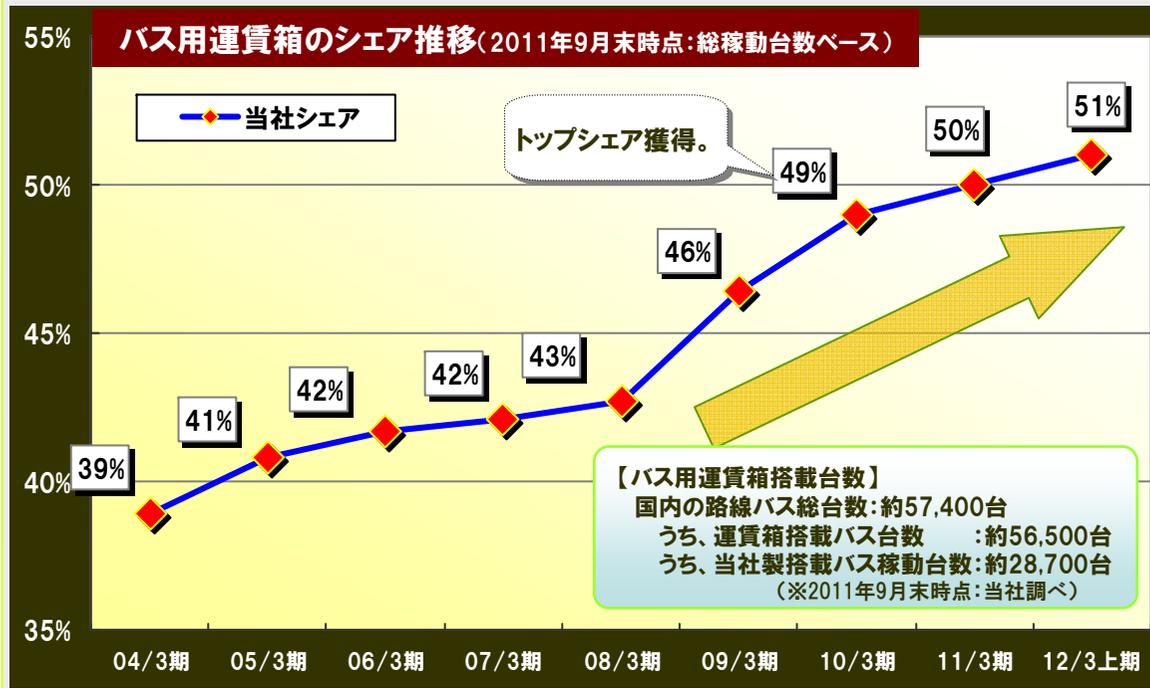
【重点課題】

- 新商品開拓への力強い熱意
- 五つの総ての市場での海外展開
- コスト競争力の強化

【2011年度の重点施策】

- 国内外におけるAFC(Automated Fare Collection System:自動運賃収受システム)のシェアアップ
- PIS(Passenger Information System:乗客情報システム)事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱とする
- LED関連製品の拡販
- 海外市場での、確実な売上の確保

AFC(自動運賃收受システム)のシェアアップ



- 2010年3月期に、シェア逆転し、トップシェア獲得。今期も、上昇続く

➡ 今期上期末時点のシェア:約51%

- 運賃箱の薄型化と、高額紙幣への対応を実現。得意とするICカードシステムの普及拡大も追い風

- 車載機器中心のメーカーから「自動運賃收受総合システム会社」へ脱皮し、売上の拡大を図る

➡ 後方の精算システムや、乗客の乗降実態分析システム等を包括したトータル・システムの提供に注力

PIS(乗客情報システム)事業の推進

● バス車内で



【表示例】



多くの有益な情報をリアルタイムで配信

- ▶ バス接近表示情報
- ▶ 乗換・接続の案内
- ▶ 周辺施設の案内
- ▶ 遅延・運休情報
- ▶ ニュース・CM
- ▶ 緊急情報 (事故、火災、地震、気象)
- ▶ 災害情報 (避難指示、安全、消息情報)

● 駅・バスターミナル・バス停 等で



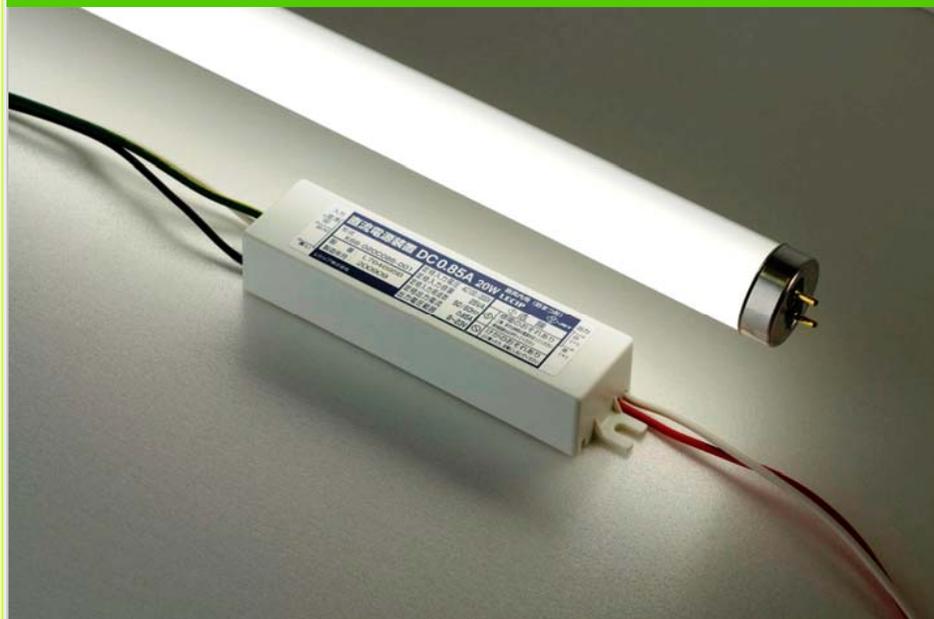
PIS(乗客情報システム)事業の推進

● バス車内・バスターミナルでの多言語表示事例



LED関連製品の拡販

● LED電源と蛍光灯型LED灯具



● 車載用LED灯具



- **節電・省エネ意識の高まりから、照明分野におけるLEDの採用が活発化**
 - ▶ 店舗やオフィス等の屋内照明や屋外看板、バス停などの屋外照明、バス・鉄道・自動車の車載照明の分野で、LED関連ビジネスを展開
- **当社製品の強みは、優れた「耐久性」**
 - ▶ 長年の、屋外向け、車載向け等、厳しい使用環境向けの製品開発を通じ、多くのノウハウを蓄積
- **長寿命のLEDでは、製品の「耐久性」もポイント**
 - ▶ 優位性を活かした、高品質の製品開発と拡販戦略を推進

海外市場展開の強化

● アジア市場（シンガポール・香港等）



● 北米市場（米国・カナダ）



● バス市場向け製品一

アジア(シンガポール・香港等)市場での販売強化と、北米(米国・カナダ)市場の開拓に注力

- ▶ シンガポールのバス用LED式行先表示器、料金箱、発券機等を納入
- ▶ カナダのバス用乗り継ぎ発券機の受注に成功
- ▶ 複数の北米AFC(自動運賃収受システム)案件に応札

● 鉄道市場向け製品一

海外の鉄道車両用灯具の受注活動と、製品開発を推進

- ▶ 受注拡大続く日本の車両メーカー様と、現地事業者様へのアプローチ継続
- ▶ 米国の鉄道車両用LED灯具の受注に成功
- ▶ ニューヨーク市交通局様の地下鉄車両で試験搭載実施中



海外市場展開の強化

● 北米バス市場向け運賃箱の開発



- 現地のニーズに即した北米市場向け製品を開発
 - ▶ ドル紙幣・クレジットカード決済への対応
- 国内向け製品の開発で培った高度な技術力を武器に、現地メーカーとの差別化を図る
 - ▶ 処理スピードが速い運賃自動計数機能や、視認性の高いカラー液晶表示機能を搭載
- 海外市場展開を加速させることによって、着実な成長を図る

1. 2012年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況:P 3~P17

2. 2012年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P19~P21

3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23~P30

▶ **【ご参考資料】:P32~P38**

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

会社名	: レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
連結従業員数	: 444名 (2011年9月末現在)
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 6,399,100株
上場証券取引所	: 東京証券取引所市場第2部、名古屋証券取引所市場第2部
証券コード	: 7213
連結子会社	: レシップ株式会社 : レシップエスエルピー株式会社 : レシップ電子株式会社 : レシップインターナショナル株式会社 : レシップエンジニアリング株式会社 : LECIP U.S.A.,INC. : THAI LECIP CORPORATION LIMITED

輸送機器事業

S & D(サイン&ディスプレイ)事業

産業機器事業

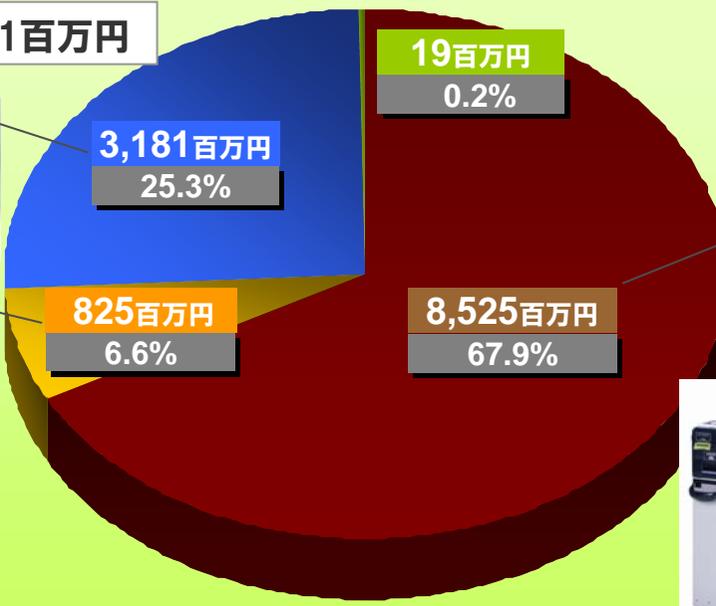
【ご参考】2011年3月期 通期の事業セグメント別売上高

2011/3期 連結売上高:12,551百万円

【産業機器事業】
充電器、無停電電源装置、
物販共用読み取り端末、
プリント基板実装



【S&D事業】
LED電源、蛍光灯型LED灯具
ネオン変圧器、
屋外用電子安定器、CCL



■ 輸送機器
■ S & D
■ 産業機器
■ その他

【輸送機器事業】
バス・鉄道用運賃箱、
ICカードシステム、
OBC(液晶表示器)、
LED式行先表示機器、
車載用照明機器



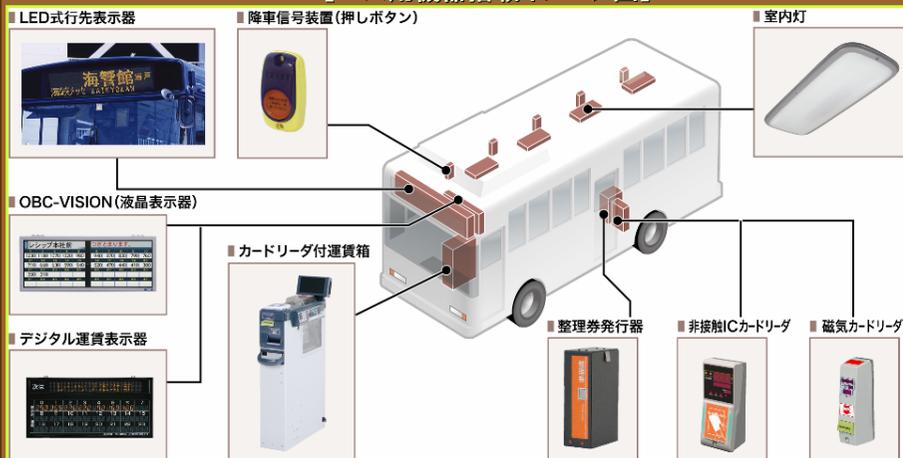
輸送機器事業

● バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」ワンストップソリューションを実現
- バス用ICカードシステムのパイオニア
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

=====【バス用機器搭載イメージ図】=====



● 鉄道市場向け製品



- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

● 自動車市場向け製品



- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

S&D事業



LED電源と蛍光灯型LED灯具



ネオン変圧器



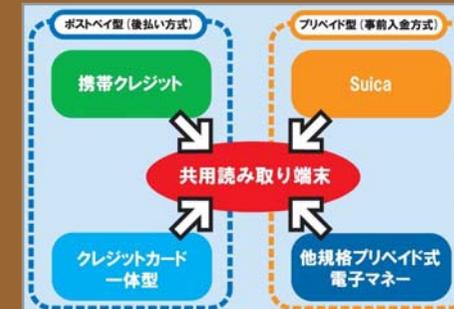
CCLのご採用事例 東京・銀座 横浜・みなとみらい CCL (Cold Cathode Lamp)

- 不採算が続いていたネオン変圧器事業の再編
- LED電源、蛍光灯型LED灯具の拡販推進
- 建築・施設照明向けライティングシステム・CCLを展開

産業機器事業



フォークリフト用充電器



物販共用読み取り端末



プリント基板実装ライン



- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- 複数規格の電子マネーに対応する物販共用読み取り端末の開発・製造
- 連結子会社 レシップ電子において、プリント基板実装事業を展開

【ご参考】: 主な経営指標の推移

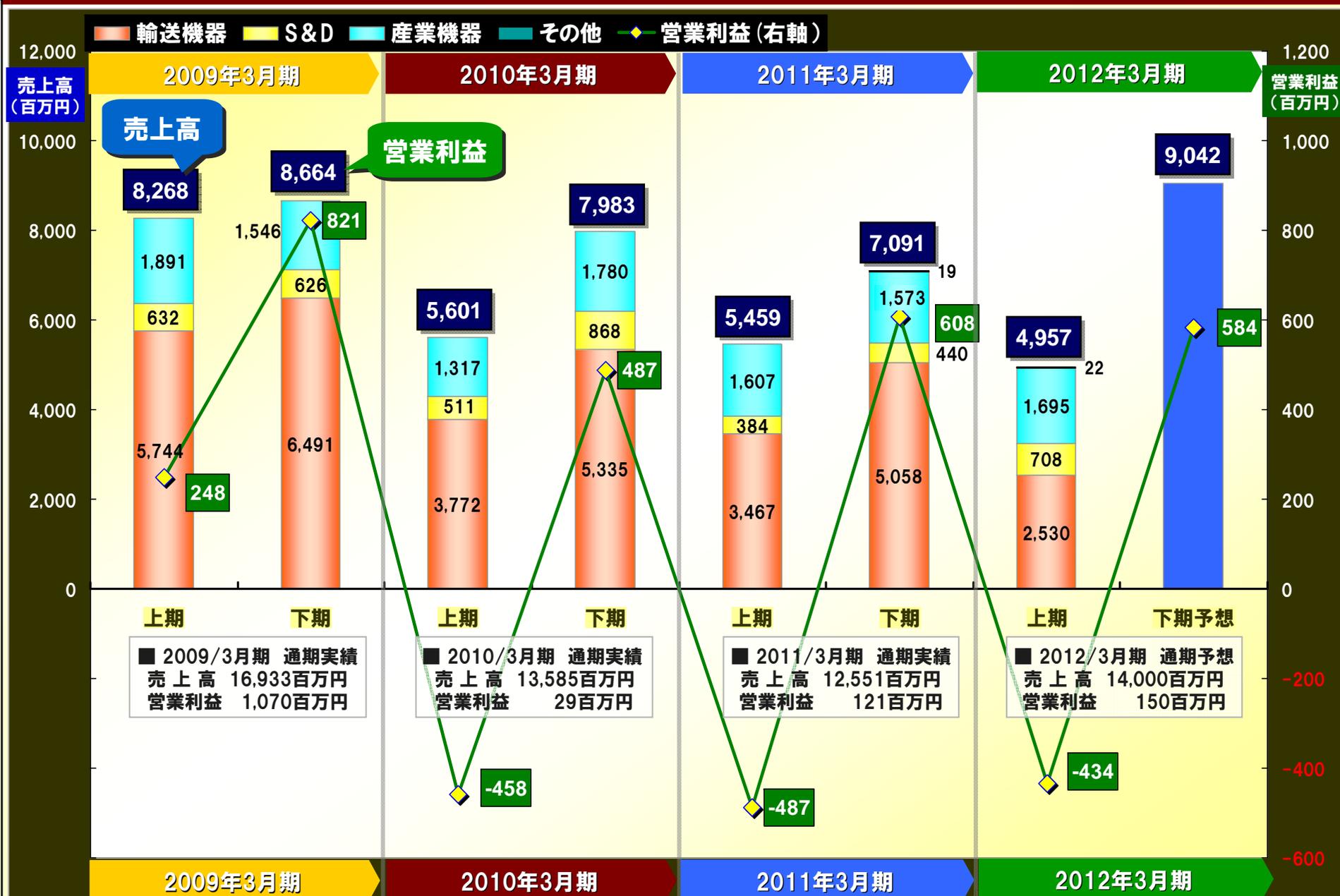


(単位: 百万円)

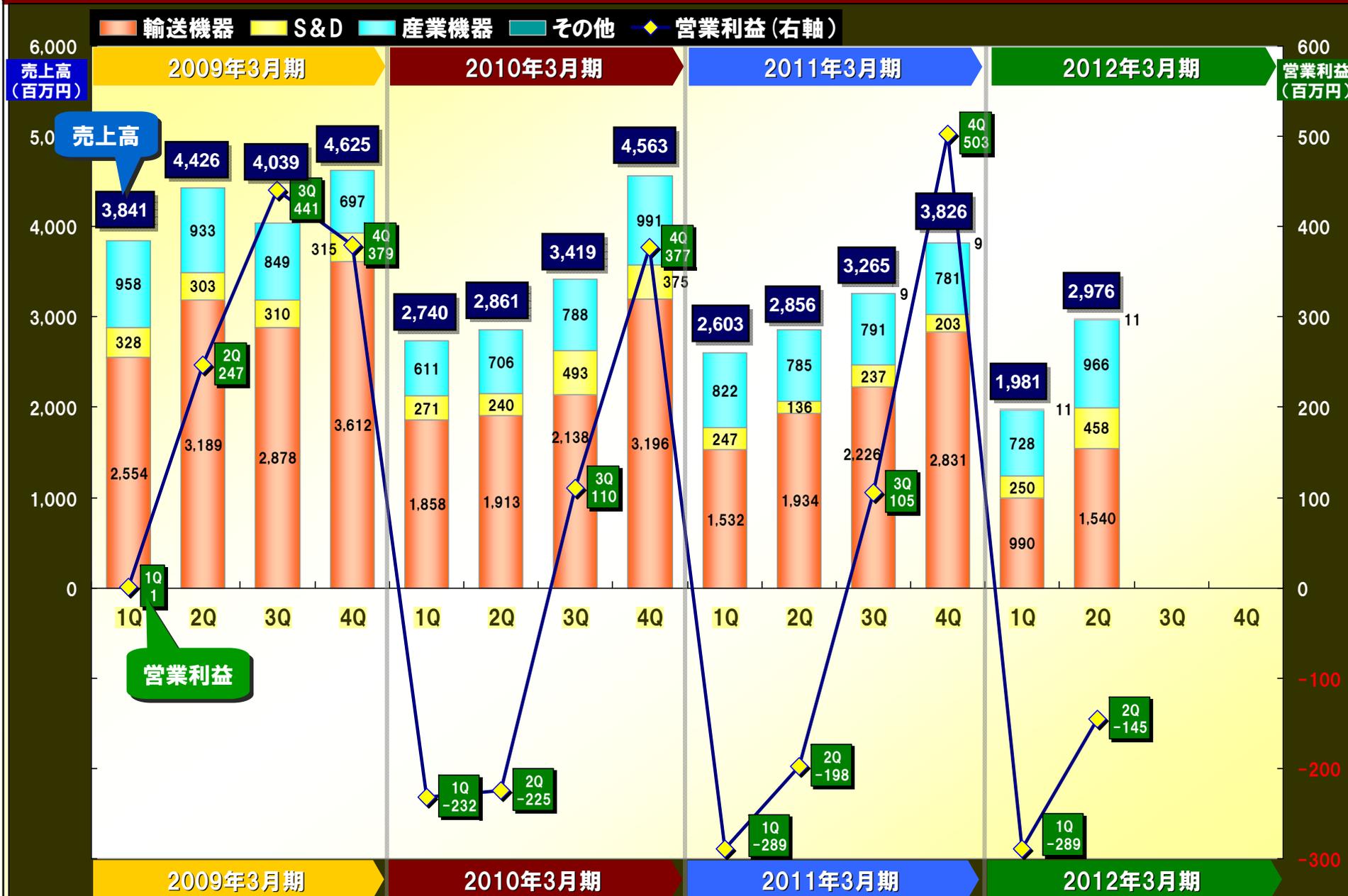
主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期 予想
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	14,000
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	150
営業利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.7	6.3	0.2	1.0	1.1
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	160
経常利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.5	6.5	0.5	1.2	1.1
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	77
当期純利益率(%)	▲0.6	4.0	3.6	3.8	3.7	3.1	0.3	0.4	0.6
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	—
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	—
自己資本比率(%)	18.4	23.9	37.1	38.2	43.5	51.2	50.3	54.4	—
EPS(円)	▲18.05	107.70	96.29	104.68	107.38	81.61	6.55	7.34	12.05
ROE(%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	—
BPS(円)	338.36	441.66	599.65	689.82	781.66	835.49	827.65	825.60	—

※2004年3月期につきましては、退職給付制度改革を実施し、確定拠出年金制度への全面移行に伴い、退職給付制度変更損失:397百万円を計上したため、当期純損失となっております。

【ご参考】: 上期・下期別の業績推移



【ご参考】: 四半期ごとの業績推移



LECIP

GROUP

レシップホールディングス株式会社

【資料お問合せ先】

IR担当役員：常務取締役 山口 芳典

電話番号：(058)323-7647

IR担当者：人事総務部兼経営管理部 野村 武史

電話番号：(058)324-3121

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。